

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 53 回 基盤応用・廃炉技術専門部会 議事録

1. 日 時：2022年2月1日（火）9：30～11：56

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員）石川部会長，山路副部会長，湊幹事，石川，北島，坂本，田中(健)，田中(正)，張，萩原，日比，藤井，増田，松本，明神，山本（16名）

（欠席委員）佐田，吉田（2名）

（代理出席）岡林 一木（三菱重工業／佐田委員）（1名）

（説明者）【廃止措置分科会】田中幹事，工藤委員

【放出源の有効高さ評価分科会】藤井幹事，岡林委員

【基盤応用・廃炉技術専門部会】湊幹事（延べ5名）

（事務局）大沼，牧野，正岡（3名）

4. 配付資料

- ATC53-0 第 53 回基盤応用・廃炉技術専門部会議事次第（案）
- ATC53-1 第 52 回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録（案）
- ATC53-2 人事について
- ATC53-3-1 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX”に関する本報告についての当専門部会決議投票結果について
- ATC53-3-2 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準 20XX（案）”の専門部会本報告書面審査対応について
- ATC53-3-3 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX（案）”専門部会本報告書面投票時意見対応版
- ATC53-3-4 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX（案）”専門部会本報告書面投票時意見管理表
- ATC53-4-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX”に関する本報告についての当専門部会決議投票結果について
- ATC53-4-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画の策定基準：20XX（案）”の専門部会本報告書面審査対応について
- ATC53-4-3 “発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX”専門部会本報告書面投票時意見対応版（案）
- ATC53-4-4 “発電用原子炉施設の廃止措置計画の策定基準：20XX（案）”専門部会本報告書面投票時意見管理表
- ATC53-5-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”標準原案に関する標準委員会中間報告後の意見募集で受け付けた意見対応に係るメール審議結果について
- ATC53-5-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）第 52 回専門部会後メール審議他のコメント対応について
- ATC53-5-3 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）回答書「解説 3.3 原災法との関係について」
- ATC53-5-4 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）回答書（補足）「グレーデッドアプローチについて」
- ATC53-5-5 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）第 52 回専門部会後メール審議コメント対応表

- ATC53-5-6 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案） 日本原子力学会事務局コメント対応表
- ATC53-5-7 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案） 完本版
- ATC53-5-8 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案） 新旧対比表
- ATC53-5-9 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案） 標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
- ATC53-6-1 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX” に関する標準委員会中間報告意見募集結果について
- ATC53-6-2 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX” に関する標準委員会中間報告の意見募集で受け付けた意見への対応について
- ATC53-6-3 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX（案）” 完本版
- ATC53-6-4 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX（案）” 新旧比較表
- ATC53-7-1 標準策定5か年計画 基盤応用・廃炉技術専門部会（2022年度版案）
- ATC53-7-2 新知見情報の確認
- ATC53-8 2021年度「倫理教育の周知徹底」に関する活動状況について
- ATC53-9 分科会活動状況

参考資料

- ATC53-参考1 基盤応用・廃炉技術専門部会委員名簿
- ATC53-参考2 基盤応用・廃炉技術専門部会出席実績

5. 議事内容

事務局から開始時，委員18名中，16名が出席しており，成立に必要な定足数（12名以上）を満足している旨が報告された。その後1名が途中参加し，17名の出席となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC53-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事（ATC53-2）

事務局からATC53-2に基づき，専門部会の人事について以下の提案があり，審議の結果，専門部会委員の再任が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員再任

石川 智之 伊藤忠テクノソリューションズ 2022.05～2024.04

2. 確認事項

(1) 委員所属変更

張 承賢 東京大学 → 北海道大学 2022.01.01

【分科会】

○放出源の有効高さ評価分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

田中 広大 東京電力ホールディングス

2. 確認事項

(1) 委員退任

大野 里実 東京電力ホールディングス 2022. 01. 20

(2) 常時参加者登録解除

田中 広大 東京電力ホールディングス 2022. 01. 20

(3) 【報告・審議】 (ATC53-3-1～ATC53-3-4)

“原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX”に関する本報告についての当専門部会決議投票結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，廃止措置分科会 田中幹事)

事務局から ATC53-3-1 に基づき，題記に関する当専門部会決議投票の結果，可決された旨，また 6 名の委員から意見があったことが報告された。引き続き廃止措置分科会 田中幹事から ATC53-3-2～ATC53-3-4 に基づき，題記についての説明があり，審議の結果，会議でのコメントを反映させた本対応案で，次回の標準委員会に本報告することが決議された。

(4) 【報告・審議】 (ATC53-4-1～ATC53-4-4)

“発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX”に関する本報告についての当専門部会決議投票結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，廃止措置分科会 田中幹事)

事務局から ATC53-4-1 に基づき，題記に関する当専門部会決議投票の結果，可決された旨，また 4 名の委員から意見があったことが報告された。引き続き廃止措置分科会 田中幹事から ATC53-4-2～ATC53-4-4 に基づき，題記についての説明があり，審議の結果，会議でのコメントを反映させた本対応案で，次回の標準委員会に本報告することが決議された。

(5) 【報告・審議】 (ATC53-5-1～ATC53-5-9)

“発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準原案に関する標準委員会中間報告後の意見募集で受け付けた意見対応に係るメール審議結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，廃止措置分科会 田中幹事，工藤委員)

事務局から ATC53-5-1 に基づき，題記に関する当専門部会メール審議の結果，可決された旨，また 4 名の委員から意見があったことが報告された。引き続き廃止措置分科会 田中幹事，工藤委員から ATC53-5-2～ATC53-5-9 に基づき，題記についての説明があり，審議の結果，本対応案に対して本日の席上コメントを反映した上で 30 日間の決議投票を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q1：解説図 1 のテキストボックスの pdf 乱調を修正すること

A1：テキストボックスの枠線の乱調が出ないように修正。

Q2：文献から引用している計算式の文献名記載については，事務局と調整の上で記載方法を見直すこと。

A2：拝承。

C3：引用図書の記載方法を事務局からご指示いただくする。

(6) 【報告・審議】 (ATC53-6-1～ATC53-6-4)

“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”に関する標準委員会中間報告後の意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，放出源の有効高さ評価分科会 藤井幹事，岡林委員)

事務局から ATC53-6-1 に基づき，題記に関する標準委員会意見募集の結果，6 名の委員から意見があったことが報告された。引き続き放出源の有効高さ評価分科会 藤井幹事，岡林委員から ATC53-6-2～ATC53-6-4 に基づき，題記についての説明があり，審議の結果，会議でのコメントを反映させた本対応案で，次回の標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：解説表1で示される計算事例の比較では，平均化時間を十分に長く取っているのか。

A：その通り。

C：平均化時間に係る説明文の修正案に，「平均化時間の長さの影響が無くなるように」と書いてしまうと，影響が無い状態を確認した上で評価すると読めてしまう。実際は評価する現象を捉えられる十分な時間計算を行うのが実態ではないか。よって，評価対象とする現象に即して平均化時間の長さを決める必要があるような表現が良いのではないか。

A：拝承。

(7) 【報告】 (ATC53-7-1, ATC53-7-2)

標準策定5か年計画の更新について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事)

基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事から ATC53-7-1, ATC53-7-2 に基づき，題記について説明があり，審議の結果，会議でのコメントを反映させた本対応案で，次回の標準委員会に報告することが決議された。

(8) 【報告】 (ATC53-8)

倫理教育の受講実績について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事)

基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事から ATC53-8 に基づき，題記について報告があった。

(9) 【報告】 (ATC53-9)

分科会活動状況について

(担当：放射線遮蔽分科会 坂本主査

廃止措置分科会 田中(健)幹事

シミュレーションの信頼性分科会 田中(正)幹事

放出源の有効高さ評価分科会 藤井幹事)

“放射線遮蔽分科会”

・坂本より遮蔽コンクリートの標準組成に関する作業会の開催状況及び放射線遮蔽設計法に係るワークショップ第7回(放射線工学部会主催、廃止措置分科会及び放射線遮蔽分科会共催)の開催が報告された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：(石川部会長) 2月中に分科会を開催するのか？

A：分科会と作業会の合同会合を予定している。

C：(石川部会長) γ 線ビルドアップ係数の英語標準の完成を急ぐこと。

“廃止措置分科会”

“シミュレーションの信頼性分科会”

・資料に基づき、ガイドライン改定に係る分科会運営について幹事会で議論を行い、追加項目の議論を深めるため、改定スケジュールを1年ほど遅らせることとしたこと、付随して5ヶ年計画について修正を行ったことが報告された。専門部会長より、改定に係るスケジュール管理について助言があった。

“放出源の有効高さ評価分科会”

・第86回標準委員会(12月9日)にて中間報告を行い、12月10日から1月14日まで意見募集が行われ、6名の委員から計14件の意見があった。

- ・標準委員会での意見対応について分科会で検討を行い、1月20日に修正案について審議を行った。内容は本日の専門部会で説明したとおり。
- ・質疑、コメント等は特になし。

6 その他

- ・次回は、2022年5月11日（水）9：30に開催。

以上